

リレートーク

紹介者



小山眞一氏
富士ゼロックスシステムサービス
取締役会長兼社長



中村紀子氏
ポピンズコーポレーション
代表取締役CEO

#160

子どもだからこそ本物を

保育園でもない、幼稚園でもない、子どもの主体的な学びを支援する場をつくりたくて今年の夏、六本木ミッドタウンにポピンズ アクティブラーニングスクールを開校した。

子どもだからこそ、いいかげんなものではなく、一流・本物といわれるものを見せ、聞かせ、触れさせたい。そのときに分からなくても、必ず成長過程でその経験は役に立つはずだ。私は、父に小学生のときからちょっと変わった教育を受けてきた。机など一生使うものは高くても本物を買う。英語辞典は分厚い研究社のもの。調べ物は国会図書館に行けといわれ、外国から来る人をどこに案内したらよいかと聞いたら、外務省に聞けばよいという。今思えば、それが答えを見つけるための BEST WAY を考える習慣につながった。世の中には一流の人、何かを成し遂げてきた人がたくさんいる。その輝きや一言一言をなるべく早く子どもたちに見せて聞かせたい。しかも目と目を合わせて手が触れ合う距離が必要だ。

科学技術の進歩に比べ、人間ほど進化がないものはない。また、人間ほど一生の生き方に落差がでる動物もいない。だからこそ私たちは、先を生きて何かを成し遂げてきた人からたくさん学ぶべきことがあるはずだ。

自分の感覚だけで歩むより、転ばぬ先の杖が必要だ。一流とは、見ているだけでも五感が刺激されるオーラがある。人間には八つの知性が生まれながらに備わっているという。そのうち一つでも自分の得意な知性を伸ばして人生を謳歌してほしい。日本の資源は人間にあり。アクティブラーニングスクールは、子どもたちにそんな思いで一流の講師陣により子どもたちの知性を開花させるきっかけをつくり、主体的な学びの支援をする。ピアニストの横山幸雄さんが弾き、アートは、東京藝術大学大学院卒の日本画家や彫刻家。「キッズライフセービング」では命の大切さを教え、現役のアナウンサーが絵本の読み聞かせをする。空手の先生は元世界チャンピオンだ。

こんなことがどの保育所でもできるようになったら、真の「社会での子育て支援」につながるだろう。

次回は 川鍋 一郎 氏 (日本交通 取締役社長) にご登場いただきます。